

東芝デジタル複合機

取扱説明書

e-BRIDGE Viewer

- このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
- お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

使用許諾契約書

この契約は、お客様と東芝テック株式会社(以下「東芝テック」という)および/または東芝テックのサプライヤー(以下「サプライヤー」という)との間の契約です。ソフトウェアパッケージを開封するか或いはソフトウェアの使用を開始する事をもってお客様はこの契約に同意したことになります。契約条項を承認できない場合は、速やかにソフトウェアパッケージ及びマニュアル等の付属品をご返送ください。

ソフトウェアが記録されている媒体並びに印刷物(マニュアルなどの文書)等、有体物の所有権は、お客様に移転されますが、ソフトウェアならびに印刷物(マニュアルなどの文書)の著作権を含む知的財産権その他権利は「東芝テック」(東京都品川区東五反田2-17-2)および/または「サプライヤー」が保有しております。

お客様が期待する成果を得るためのソフトウェアの選択導入、使用および使用成果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

1. 定義

“ソフトウェア”とはe-BRIDGE Viewerソフトウェアおよび本製品と一緒に提供されるCDに含まれるソフトウェアをいいます。

“指定機器”とは、お客様がソフトウェアと共に購入した本製品を言います。

2. 使用許諾

お客様は、指定機器の各種機能を動作させる目的にのみソフトウェアを使用することができません。

お客様はソフトウェアを貸与またはリースすることはできません。

お客様は、契約条項に明示されている場合を除き、ソフトウェアを使用、複製、修正、逆コンパイル、逆アセンブル又はその他いかなる方法によってもソフトウェアを変更することはできません。

前号の規程にかかわらず、お客様はバックアップ用としてソフトウェアを一部複製することができます。尚、複製物に含まれる著作権表示について、修正、削除等を行うことができません。

お客様は、ソフトウェアに付随するマニュアル及びその他印刷物を複製できません。

3. 期間

お客様は、「東芝テック」および/または「サプライヤー」に対し文書にて通知することにより、いつでもこの契約を解約することができます。また、お客様がこの契約の条項に違反した場合には、この契約は自動的に解除されます。いずれの場合も、お客様には、「東芝テック」および/または「サプライヤー」からの連絡内容に従って、ソフトウェア及びそのバックアップを破棄もしくは返却していただきます。

4. 保証

①「東芝テック」および/または「サプライヤー」は、お客様が、ソフトウェアと共に 本製品 を購入した日から90日以内は、ソフトウェアが記録されている媒体が通常の使用においては、材質、製造上、もしくは記録上の欠陥がないことを保証します。

②「東芝テック」および/または「サプライヤー」は、ソフトウェアに含まれる機能がお客様の要件を満たしていること及びソフトウェアの動作が常に欠陥のない状態であることを保証するものではありません。

③「東芝テック」および/または「サプライヤー」は、上記①の保証以外はいかなる場合においても、明示又黙示の保証をせず、一切責任を負いません。ソフトウェアに関し、商品適合性またはある特定の使用目的への適合性を含むいかなる黙示の保証も否認されます。

④「東芝テック」および/または「サプライヤー」は、ソフトウェアの使用または使用不能から発生する直接、間接、特別、偶発的または付随的障害につき、かかる損害に対する保証は一切いたしません。

5. 一般事項

お客様は、ソフトウェアについて、第三者に使用権を設定し、または譲渡することはできません。お客様は、本契約をお読みになり、上記の条項を承認したことをご確認されたものとし、さらに本契約は、ソフトウェアに関する唯一完全な契約であり、かつ、本契約はお客様が本契約の主要事項に関連して受け取ったいかなる情報にも優先することに同意されたものとし、

本契約は日本国の法律に準拠するものとします。

また、本契約に関する一切の紛争に関しては、東京地方裁判所を管轄裁判所とします。

商標および著作権について

商標

本書で記載されている登録商標を下記に記します。

- Windows 2000の正式名称は、Microsoft Windows 2000 Operating Systemです。
- Windows XPの正式名称は、Microsoft Windows XP Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Excel、PowerPointまたはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Acrobat、およびAcrobat Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

著作権

©2007 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved

本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。本書中の情報の使用については特許に関する法的責任は生じないものとします。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Portion of this product were created using LEADTOOLS.

©1991-2001. LEAD Technologies, Inc. All rights reserved

免責事項について

次のいずれかに該当して発生した障害については、弊社は責任を負いません。

1. 取扱説明書記載事項に反するお取り扱い、お取り扱い上のはなはだしい不注意および誤用の場合
2. 火災、天災、地変、異常電圧およびこれに類する災害による場合
3. 弊社が認定するサービス技術者以外による改造、分解、移動、修理に起因する場合
4. 弊社が推奨するコピー用紙、その他消耗品、部品以外の使用による場合

上記以外の場合においても、本製品、オプション、およびそれらに附属または内蔵のソフトウェアの使用または使用不能(故障、誤動作、ハングアップ、ウィルス感染その他の不具合を含むが、これに限定されない)から生じた、逸失利益、データの損失、その他特別な、付随的、結果的、間接的損害をはじめとする損害、および第三者からの請求等について、弊社がそのような損害の可能性について知らされていた場合であっても、弊社は一切責任を負いません。

弊社が関与しないハードウェア、ソフトウェアなどとの組み合わせによる使用不能(故障、誤動作、ハングアップ、ウィルス感染その他の不具合を含むが、これに限定されない)から生じた損害に関し、弊社は一切責任を負いません。

目次

| | |
|--------------------|---|
| 使用許諾契約書 | 1 |
| 商標および著作権について | 3 |
| 免責事項について | 4 |

第1章 ご使用の準備

| | |
|--|----|
| 機能と特長 | 8 |
| ファイリングボックスからのダウンロード機能について | 9 |
| e-BRIDGE Viewerをインストールする | 10 |
| e-BRIDGE Viewerインストーラからインストールする | 10 |
| Client Utilities CD-ROMからインストールする | 10 |
| e-BRIDGE Viewerをアンインストールする | 11 |
| e-BRIDGE Viewerインストーラからインストールしたe-BRIDGE Viewerをアンインストールする | 11 |
| e-STUDIO Client Utilities CD-ROMからインストールしたe-BRIDGE Viewerをアンインストールする | 11 |

第2章 e-BRIDGE Viewerの使用方法

| | |
|--------------------------------|----|
| e-BRIDGE Viewerを起動する | 14 |
| ライセンス認証を行う | 15 |
| e-BRIDGE Viewerの使用方法 | 17 |
| e-BRIDGE Viewerをセットアップする | 17 |
| ファイリングボックス文書を表示する | 29 |
| 文書を表示する | 31 |
| 文書を管理する | 39 |
| メインウィンドウの使用方法 | 45 |
| メニューバーコマンド | 47 |
| ツールバーコマンド | 50 |

| | |
|----------|----|
| 索引 | 53 |
|----------|----|

ご使用の準備

ここでは、e-BRIDGE Viewerをご使用になるための準備について説明します。

| | |
|--|-----------|
| 機能と特長 | 8 |
| ファイリングボックスからのダウンロード機能について | 9 |
| e-BRIDGE Viewerをインストールする | 10 |
| e-BRIDGE Viewerインストーラからインストールする | 10 |
| Client Utilities CD-ROMからインストールする | 10 |
| e-BRIDGE Viewerをアンインストールする | 11 |
| e-BRIDGE Viewerインストーラからインストールしたe-BRIDGE Viewerをアンインストールする | 11 |
| e-STUDIO Client Utilities CD-ROMからインストールしたe-BRIDGE Viewerをアンインストールする | 11 |

機能と特長

e-BRIDGE Viewerは、東芝デジタル複合機のファイリングボックスに保管された文書をTCP/IPネットワークを介して表示したり検索したり、コンピュータに保存することができます。また、このソフトウェアは、コンピュータに保存されているファイルも同様に表示することができます。

e-BRIDGE Viewerでは、以下のような機能を使用して、文書を表示したり探したりすることができます。

- 文書イメージを表示し、マウスホイールまたは上下矢印キーを使って文書イメージを文書の時刻順にめくることができます。
- e-BRIDGE Viewerでは以下のファイルを表示できます。
 - Microsoft Wordファイル(*.doc)
 - RTFファイル(*.rtf)
 - Microsoft PowerPointファイル(*.ppt)
 - Microsoft Excelファイル(*.xls)
 - CSVファイル(*.csv)
 - PDFファイル(*.pdf)
 - テキストファイル(*.txt)
 - HTMLファイル(*.html, *.htm)
 - XPSファイル(*.xps)^{*1}
 - JPEGファイル(*.jpg)
 - GIFファイル(*.gif)
 - PNGファイル(*.png)
 - TIFFファイル(*.tif, *.tiff)
 - ビットマップファイル(*.bmp)

^{*1} Windows XPのみ表示できます。

注 意

- 文書イメージを表示するには、それぞれのファイルを表示できる以下のような適切なアプリケーションがインストールされている必要があります。

| | |
|-----------------------|---------------------------------------|
| -Wordファイル: | Microsoft Word |
| -RTFファイル: | Microsoft Word |
| -PowerPointファイル: | Microsoft PowerPoint |
| -Excelファイル: | Microsoft Excel |
| -CSVファイル: | Microsoft Excel |
| -PDFファイル: | Adobe Acrobat Reader |
| -テキストファイル: | メモ帳 |
| -HTMLファイル: | Microsoft Internet Explorer |
| -XPSファイル: | Microsoft .NET Framework 3.0 |
| -JPEG/GIFファイル: | イメージング、Windows Picture and Fax Viewer |
| -PNG/TIFF/ビットマップファイル: | ペイント、Windows Picture and Fax Viewer |
- e-BRIDGE Viewerでは、JPEG圧縮またはZIP圧縮保存されたTIFFファイルは表示することができません。
- アプリケーションによっては起動していると、文書イメージが正しく更新されない場合があります。文書イメージの更新は、対象のアプリケーションを終了させてから実行してください。

- 東芝デジタル複合機のファイリングボックスに保管された文書、およびお使いのコンピュータに保存されたファイルを表示することができます。
- 東芝デジタル複合機のファイリングボックスに保管された新しい文書を自動的にダウンロードすることができます。
- ファイルの種別によって表示する文書をフィルタし、目的の文書を簡単に探し出すことができます。
- 文書イメージをダブルクリックして、表示した文書を対応したアプリケーションで直接起動することができます。
- 文書イメージにメモを追加し、メモを使って表示する文書をフィルタすることができます。
- 表示した文書を直接e-BRIDGE Viewerがサポートする東芝デジタル複合機で印刷することができます。
- e-BRIDGE ViewerからMAPI対応Eメールアプリケーションを起動し、表示した文書を添付ファイルとして新しいEメールメッセージを作成することができます。
- 文書を非表示に設定し、特定の文書だけを管理することができます。

必要環境

e-BRIDGE Viewerは以下の環境で 사용할 수 있습니다。

- **ディスプレイ解像度**
1024 x 768ドット以上を推奨
- **ディスプレイ色**
High Color (16ビット)以上を推奨
- **CPU**
Pentium 300 MHz(Pentium 1GHz以上を推奨)
- **プロトコル**
TCP/IP(ファイリングボックス文書のダウンロードに必要)
- **OS**
Windows 2000 Service Pack 4
Windows XP Service Pack 1/Service Pack 2
Windows XP Professional x64 Edition Service Pack 1/Service Pack 2

ファイリングボックスからのダウンロード機能について

ファイリングボックス機能を持たない機種に関しては、e-BRIDGE Viewerのダウンロード機能をお使いいただくことはできません。

e-BRIDGE Viewerをインストールする

e-BRIDGE Viewerは、e-BRIDGE Viewerインストーラ、またはClient Utilities CD-ROMからインストールすることができます。

e-BRIDGE Viewerインストーラからインストールする

1. e-BRIDGE Viewerの「Setup.exe」をダブルクリックします。
2. 表示された画面にしたがい、e-BRIDGE Viewerをインストールします。

注 意

AntiSpywareプログラムがインストールされている場合は、インストール中に警告メッセージが表示されることがあります。

重 要

新しくe-BRIDGE Viewerをインストールする際は、必ず既にインストールされているe-BRIDGE Viewerをアンインストールしてからインストールしてください。

Client Utilities CD-ROMからインストールする

e-STUDIO Client Utilities CD-ROMからインストールされるお客様は、**ファイリングボックスガイド**を参照し、Client CDのインストール手順にしたがってインストールしてください。インストールの際に表示される「コンポーネントの選択」画面で、e-BRIDGE Viewerを選択してインストールをします。

注 意

機種によってはインストールの際に表示される「コンポーネントの選択」画面にe-BRIDGE Viewerが表示されない場合があります。この場合、CD-ROMをエクスプローラで開き、e-BRIDGE Viewerフォルダの中の「setup.exe」をダブルクリックして、インストーラを起動してください。

e-BRIDGE Viewerをアンインストールする

e-BRIDGE Viewerインストーラからインストールしたe-BRIDGE Viewerをアンインストールする

1. コントロールパネルを開き[プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
2. 「TOSHIBA e-BRIDGE Viewer」を選択し[変更と削除]をクリックします。
3. 表示された画面にしたがい、e-BRIDGE Viewerを削除します。

e-STUDIO Client Utilities CD-ROMからインストールしたe-BRIDGE Viewerをアンインストールする

e-STUDIO Client Utilities CD-ROMからインストールされたお客様は、**ファイリングボックスガイド**を参照し、ClientCDのアンインストール手順にしたがってアンインストールしてください。アンインストールの際に表示される「コンポーネントの選択」画面で、e-BRIDGE Viewerの削除を選択します。

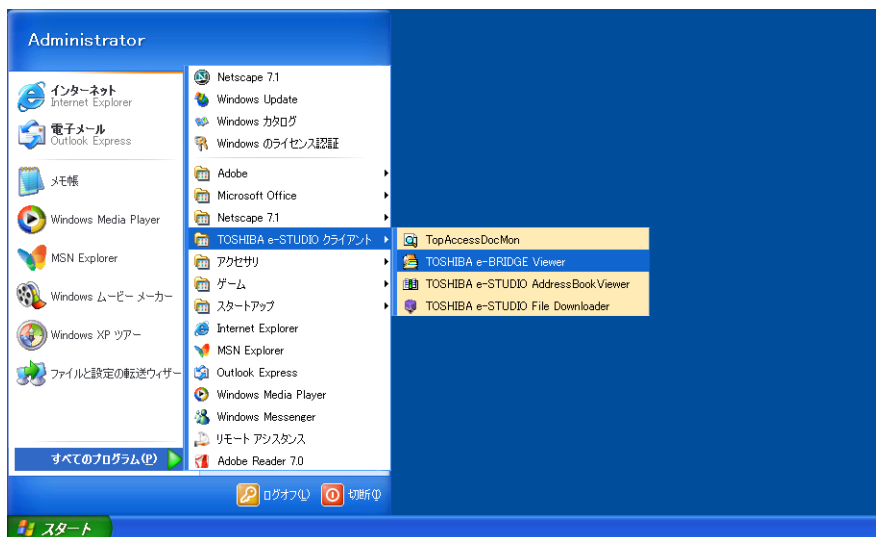
e-BRIDGE Viewerの使用方法

ここでは、e-BRIDGE Viewerの使用方法について説明します。

| | |
|-----------------------------------|-----------|
| e-BRIDGE Viewerを起動する | 14 |
| ライセンス認証を行う | 15 |
| e-BRIDGE Viewerの使用方法 | 17 |
| e-BRIDGE Viewerをセットアップする | 17 |
| ファイリングボックス文書を表示する | 29 |
| 文書を表示する | 31 |
| 文書を管理する | 39 |
| メインウィンドウの使用方法 | 45 |
| メニューバーコマンド | 47 |
| ツールバーコマンド | 50 |

e-BRIDGE Viewerを起動する

e-BRIDGE Viewerは、スタートメニューをクリックし、[すべてのプログラム]－[TOSHIBA e-STUDIO クライアント]－[TOSHIBA e-BRIDGE Viewer]を選択して起動します。



e-BRIDGE Viewerを起動すると、メインウィンドウが表示されます。メインウィンドウの操作方法については、以下の説明を参照してください。

📖 P.45「メインウィンドウの使用方法」

注 意

- e-BRIDGE Viewerを初めて起動したときは、デモファイルのみが表示する文書として登録されています。その他の文書イメージをe-BRIDGE Viewerで表示するには、文書を含むフォルダを登録する必要があります。また、デモファイルを表示したくない場合は、デモファイルがあるフォルダの登録を解除します。デモファイルは、e-BRIDGE Viewerのプログラムフォルダにある「DEMO」フォルダに収録されています。フォルダ登録の解除方法については、以下の説明を参照してください。


📖 P.19「フォルダ登録をセットアップする」

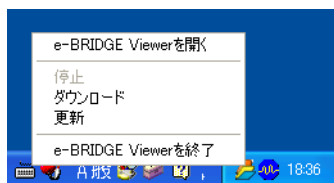
- ファイルの文書イメージを表示するには、更新を行い文書イメージを作成する必要があります。標準の設定では、文書イメージの更新はスクリーンセーバーの起動中に自動的に実行するように設定されています。文書イメージが表示されない場合は、手動で更新を実行することもできます。

📖 P.32「文書イメージを更新する」

e-BRIDGE Viewerを起動すると、e-BRIDGE Viewerアイコンが通知領域に表示されます。このアイコンを右クリックすると、e-BRIDGE Viewerの通知領域メニューが表示されます。

補 足

ファイリングボックス文書のダウンロード中などにエラーが発生した場合は、通知領域の e-BRIDGE Viewerアイコンは  で表示されます。



通知領域メニューからは、以下のコマンドを操作することができます。

- **e-BRIDGE Viewerを開く**


e-BRIDGE Viewerのメインウィンドウを開きます。

- **停止**

ファイリングボックス文書のダウンロードまたは文書イメージの更新を中断します。ファイリングボックス文書のダウンロードまたは文書イメージの更新中のみ操作することができます。


- **ダウンロード**

ファイリングボックス文書のダウンロードを開始します。標準の設定では、ファイリングボックス文書のダウンロードは10分おきに自動的にダウンロードするように設定されています。このコマンドは、今すぐファイリングボックス文書のダウンロードを開始したい場合に使用します。

 P.30「ファイリングボックス文書をダウンロードする」

- **更新**

文書イメージの更新を開始します。標準の設定では、文書イメージの更新はスクリーンセーバーの起動中に自動的に実行するように設定されています。このコマンドは、今すぐ文書イメージの更新を開始したい場合に使用します。

 P.32「文書イメージを更新する」

- **e-BRIDGE Viewerを終了**

e-BRIDGE Viewerを終了します。

注 意

e-BRIDGE Viewerを終了しても、文書イメージの更新処理はWindowsサービスとして起動したままになります。この処理を完全に終了させたい場合は、e-BRIDGE Viewerをアンインストールする必要があります。

ライセンス認証を行う

e-BRIDGE Viewerはライセンス認証なしに90日間まで使用することができます。

e-BRIDGE Viewerを起動すると、自動的にTCP/IPネットワーク内にあるサポートする東芝デジタル複合機を検索します。サポートする東芝デジタル複合機が見つかったと、e-BRIDGE Viewerはライセンス認証の期限を90日間にリセットします。e-BRIDGE Viewerは、サポートする東芝デジタル複合機と正常に通信できることを確認するたびに、ライセンス認証の期限を90日間にリセットします。

サポートする東芝デジタル複合機が探し出せなかった場合は、手動で接続しライセンス認証を行う必要があります。

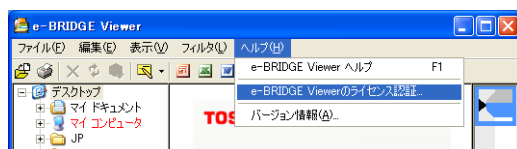
注 意

手動によるライセンス認証は、自動的にネットワークからサポートする東芝デジタル複合機が見つからなかった場合に行います。サポートする東芝デジタル複合機が見つからなかった場合は、「e-BRIDGE Viewerのライセンス認証」ダイアログボックスの「状態」に「トライアル」と表示されます。

手動でライセンス認証を行う

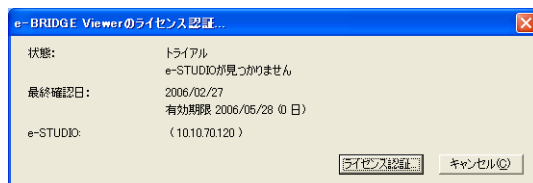
ライセンス認証は、ヘルプメニューの[e-BRIDGE Viewerのライセンス認証]から手動で実行することもできます。

1 ヘルプメニューをクリックし、[e-BRIDGE Viewerのライセンス認証]を選択します。



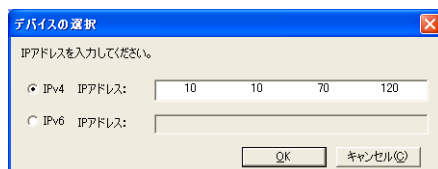
- 「e-BRIDGE Viewerのライセンス認証」ダイアログボックスが表示されます。

2 [ライセンス認証]をクリックします。



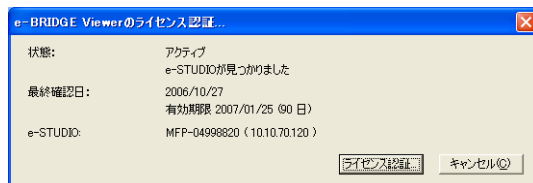
- 「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。

3 東芝デジタル複合機のIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。



- 接続が正常に完了すると、認証期限が90日にリセットされます。

4 [キャンセル]をクリックします。



- 「e-BRIDGE Viewerのライセンス認証」ダイアログボックスを閉じます。

e-BRIDGE Viewerの使用方法

e-BRIDGE Viewerを使用すると、ファイリングボックスやお使いのコンピュータのファイルを管理することができます。

📖 P.17「e-BRIDGE Viewerをセットアップする」

📖 P.29「ファイリングボックス文書を表示する」

📖 P.31「文書を表示する」

📖 P.39「文書を管理する」

e-BRIDGE Viewerをセットアップする

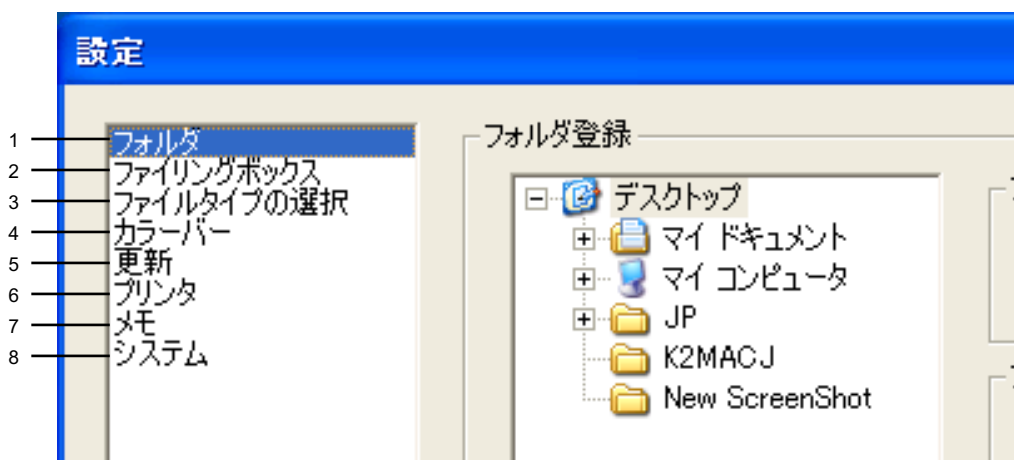
e-BRIDGE Viewerを使用する前に、e-BRIDGE Viewerの設定を行ってください。

注意

e-BRIDGE Viewerでは、登録されたフォルダにある文書のみを表示することができます。e-BRIDGE Viewerを使用する前に、文書を表示するフォルダの登録を行ってください。また、ファイリングボックス文書を表示したい場合は、ファイリングボックスの設定も行う必要があります。以下の説明を読んで、必要に応じてe-BRIDGE Viewerの設定を行ってください。

その他の設定については、標準の設定のままお使いいただけます。

e-BRIDGE Viewerの設定は、編集メニューの[設定...]を選択して表示される「設定」ダイアログボックスで設定できます。「設定」ダイアログボックスには、以下のウィンドウがあります。



1) フォルダ

フォルダウィンドウでは、フォルダ登録を設定します。e-BRIDGE Viewerでは、登録したフォルダに含まれているファイルのみ表示することができます。したがって、e-BRIDGE Viewerでファイルを表示するには、フォルダ登録を設定する必要があります。

📖 P.19「フォルダ登録をセットアップする」

2) ファイリングボックス

ファイリングボックスウィンドウでは、東芝デジタル複合機への接続を設定します。ファイリングボックス文書を表示するには、この設定を行う必要があります。

📖 P.20「ファイリングボックスをセットアップする」

3) ファイルタイプの選択

ファイルタイプの選択ウィンドウでは、ドキュメントビューに表示するファイルの種別を設定することができます。

📖 P.22「登録するファイルタイプをセットアップする」

4) カラーバー

カラーバーウィンドウでは、カラーバーの表示／非表示や文書を表示する順序を設定することができます。

📖 P.23「カラーバー設定をセットアップする」

5) 更新

更新ウィンドウでは、文書イメージの自動更新やファイリングボックス文書の自動ダウンロードなどを設定することができます。

📖 P.24「更新設定をセットアップする」

6) プリンタ

プリンタウィンドウでは、e-BRIDGE Viewerから印刷するときに標準のプリンタとして設定されるプリンタを設定することができます。

📖 P.25「標準のプリンタをセットアップする」

7) メモ

メモウィンドウでは、メモファイルをインポートしメモデザインを変更することができます。

📖 P.26「メモデザインをセットアップする」

8) システム

システムウィンドウでは、データフォルダ設定や、マイスキャンフォルダの設定、使用するディスク容量の設定などを設定することができます。

📖 P.27「システム設定をセットアップする」

フォルダ登録をセットアップする

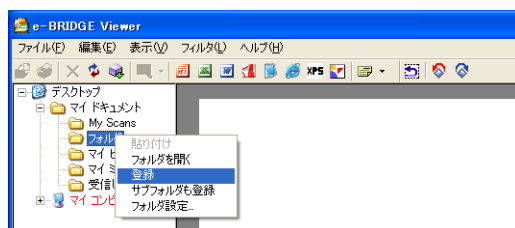
e-BRIDGE Viewerでお使いのコンピュータのファイルを表示するには、表示したいファイルを含むフォルダをあらかじめ登録する必要があります。e-BRIDGE Viewerでは、登録したフォルダに含まれるファイルのみ表示することができます。

補 足

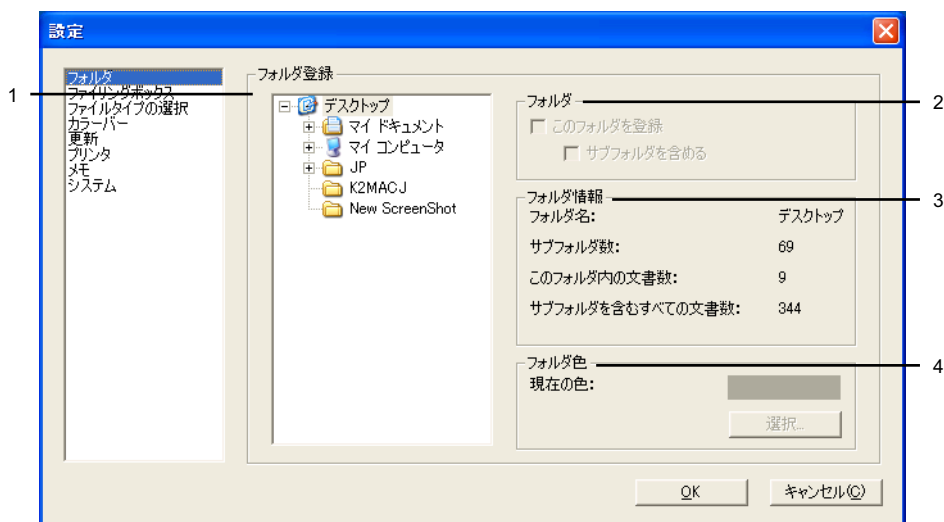
- フォルダを登録しても、文書イメージの更新を行わないと、ドキュメントビューには文書イメージの代わりに「新しい文書を登録しています」というメッセージ付きのプレースホルダが表示されます。標準の設定では、文書イメージの更新はスクリーンセーバーの起動中に自動的に実行するように設定されています。文書イメージが表示されない場合は、手動で更新を実行することもできます。

📖 P.32「文書イメージを更新する」

- フォルダ登録は、フォルダツリーで登録したいフォルダを右クリックし、表示されたメニューから「登録」または「サブフォルダも登録」を選択して行うこともできます。



フォルダ登録は、編集メニューの「設定...」を選択して表示される「設定」ダイアログボックスのフォルダウィンドウで設定することができます。



1) フォルダツリー

フォルダ登録の設定を変更したいフォルダを選択します。

2) フォルダ

選択したフォルダを登録するかどうかを設定します。

- このフォルダを登録: 選択したフォルダを登録する場合にチェックします。チェックすると、選択したフォルダにあるファイルをe-BRIDGE Viewerで表示することができます。

- **サブフォルダを含める**: 選択したフォルダ下にあるサブフォルダも登録する場合はチェックします。フォルダ直下にあるファイルだけでなく、サブフォルダ内に含まれるすべてのファイルも表示したい場合はチェックしてください。

補 足

フォルダの登録を解除する場合は、「このフォルダを登録」のチェックを外します。サブフォルダの登録を解除する場合は、「サブフォルダを含める」のチェックを外します。

3) フォルダ情報

選択したフォルダの情報を表示します。

- **フォルダ名**: 選択したフォルダの名前を表示します。
- **サブフォルダ数**: 選択したフォルダに含まれるサブフォルダの数を表示します。
- **このフォルダ内の文書数**: 選択したフォルダ下にあるファイル数を表示します。
- **サブフォルダを含むすべての文書数**: 選択したフォルダおよびサブフォルダ内にあるすべてのファイル数を表示します。

4) フォルダ色

カラーバーに表示される選択したフォルダの色を設定します。

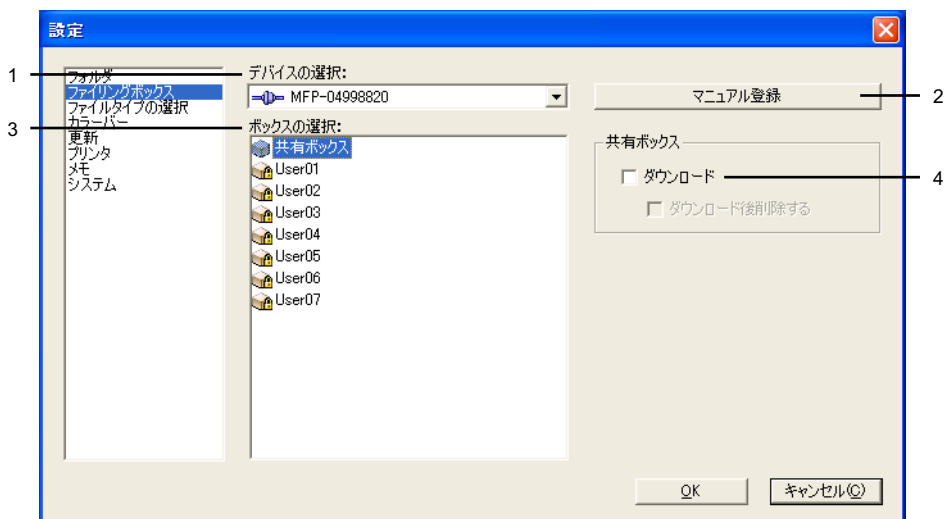
色を変更するには、「選択...」をクリックし、表示された「カラーパレット」ダイアログボックスで色を選択します。

ファイリングボックスをセットアップする

e-BRIDGE Viewerを使用してファイリングボックス文書を表示するには、東芝デジタル複合機への接続を設定し、ファイリングボックス文書をダウンロードする必要があります。

通常、e-BRIDGE Viewerを起動するとTCP/IPネットワーク上のファイリングボックス機能を装備した東芝デジタル複合機を検索します。TCP/IPネットワーク上で東芝デジタル複合機が見つかると、「デバイスの選択」ダイアログボックスにデバイス名が表示されます。東芝デジタル複合機を自動的に検知することができなかった場合は、接続先を設定する必要があります。接続先を設定したら、各ボックスごとに文書をダウンロードするかどうかを設定する必要があります。標準の設定では、接続先が設定されていても、文書をダウンロードするように設定されているボックスはありません。したがって、e-BRIDGE Viewerでファイリングボックス文書を表示するには、ファイリングボックス文書をダウンロードするかどうかを各ボックスで設定する必要があります。

ファイリングボックスの設定は、編集メニューの[設定...]を選択して表示される「設定」ダイアログボックスのファイリングボックスウィンドウで設定することができます。



1) デバイスの選択

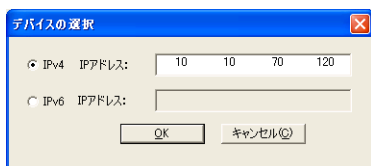
自動的にTCP/IPネットワーク上の東芝デジタル複合機を検索し、見つかったデバイス名をドロップダウンボックスに表示します。

デバイス名を選択すると、「ボックスの選択」リストに選択したデバイスのファイリングボックスが表示され、各ボックスごとに文書をダウンロードするかどうかを設定することができます。

2) [マニュアル登録]

自動的に目的の東芝デジタル複合機を発見できなかった場合は、手動で接続先を設定します。

このボタンをクリックすると、「デバイスの選択」ダイアログボックスが表示されます。東芝デジタル複合機のIPアドレスを入力し、[OK]をクリックします。



3) ボックスの選択

ダウンロード設定を変更したいボックスを選択します。

パスワードが設定されたユーザボックスを選択した場合は、パスワードの入力ダイアログボックスが表示されるので、ユーザボックスのパスワードを入力し、[OK]をクリックします。

4) ダウンロード

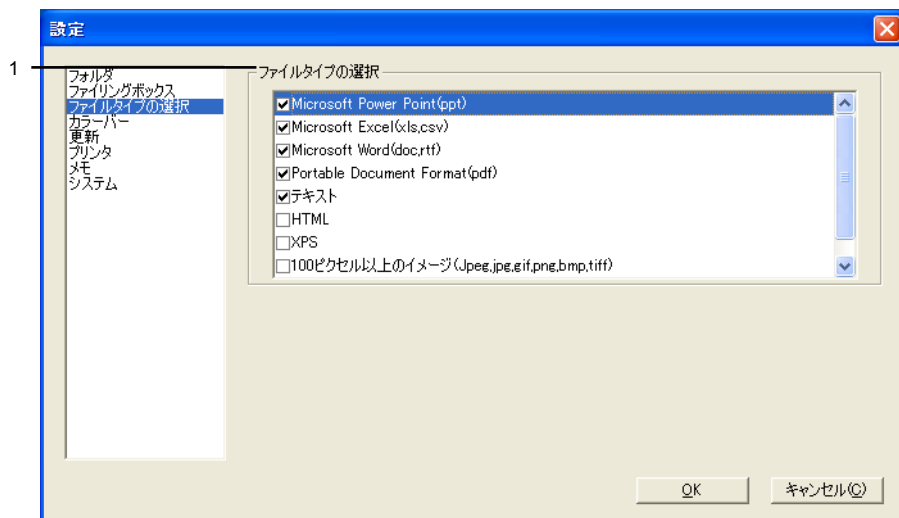
選択したボックスから文書をダウンロードする場合はチェックします。

ダウンロードした後に、ファイリングボックスから文書を削除したい場合は、「ダウンロード後削除する」もチェックします。

登録するファイルタイプをセットアップする

ファイルタイプの選択ウィンドウでは、e-BRIDGE Viewerで表示する文書のファイルタイプを指定することができます。

ファイルタイプの設定は、編集メニューの[設定...]を選択して表示される「設定」ダイアログボックスのファイルタイプの選択ウィンドウで設定することができます。



1) ファイルタイプの選択

e-BRIDGE Viewerで表示するファイルタイプをチェックします。このリストに表示されていないファイルタイプの文書は、e-BRIDGE Viewerでは表示することができません。イメージファイルは、イメージサイズごとに表示するかどうかを設定することができます。

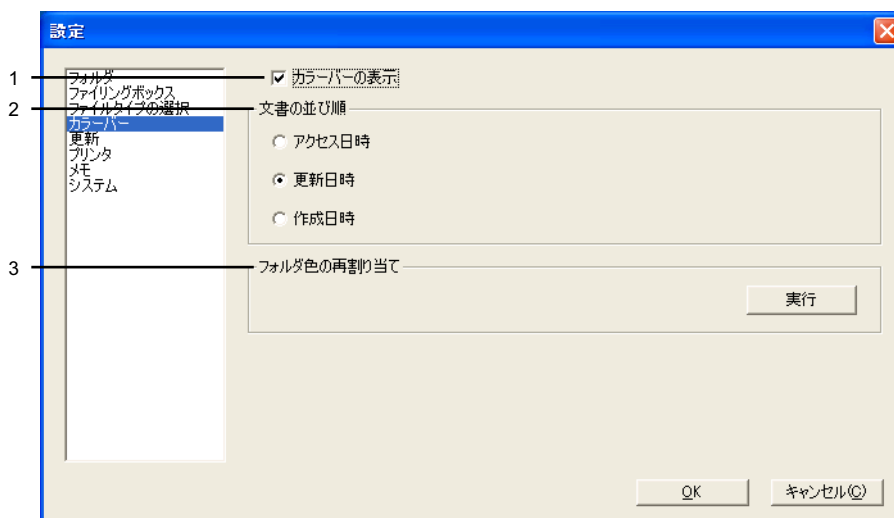
補 足

小さい部品などの画像を表示したくない場合は、「100ピクセル以下のイメージ」のチェックをはずすと、大きい画像のみ表示することができます。

カラーバー設定をセットアップする

カラーバーウィンドウでは、メインウィンドウにカラーバーを表示するかどうかや、文書の表示順序などを設定することができます。

カラーバーの設定は、編集メニューの[設定...]を選択して表示される「設定」ダイアログボックスのカラーバーウィンドウで設定することができます。



1) カラーバーの表示

メインウィンドウにカラーバーを表示する場合はチェックします。

2) 文書の並び順

e-BRIDGE Viewerで文書を表示する並び順を選択します。

- **アクセス日時**: ファイルのアクセス日時が古い順に表示します。
- **更新日時**: ファイルの更新日時が古い順に表示します。
- **作成日時**: ファイルの作成日時が古い順に表示します。

3) フォルダ色の再割り当て

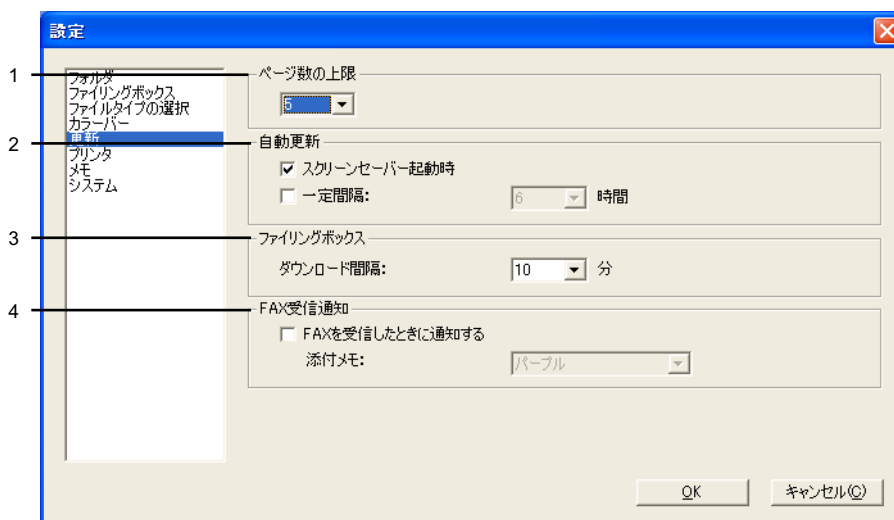
[実行]をクリックすると、カラーバーに表示されるフォルダ色を自動的に割り当て直すことができます。

各フォルダの色は、「設定」ダイアログボックスのフォルダウィンドウで自由に設定することができます。フォルダ色をカスタマイズし、同じような色をフォルダ色に設定してしまった場合に、この機能を使って自動的に適切な色を各フォルダに再割り当てし、カラーバーに表示されるフォルダ色を見やすくすることができます。

更新設定をセットアップする

更新ウィンドウでは、文書イメージをいつ更新するかや、ファイリングボックス文書をいつダウンロードするかなどを設定することができます。

更新設定は、編集メニューの[設定...]を選択して表示される「設定」ダイアログボックスの更新ウィンドウで設定することができます。



1) ページ数の上限

文書イメージを最大何ページまで表示するかを選択します。文書イメージを作成するページ数を多くすると、文書イメージの更新に時間がかかります。標準の設定では、最大5ページまで文書イメージを表示するように設定されています。

2) 自動更新

文書イメージをいつ更新させるかを設定します。

- **スクリーンセーバー起動時**: スクリーンセーバー起動している間に文書イメージの更新を行う場合にチェックします。
- **一定時間**: 指定した間隔で文書イメージの更新を行う場合にチェックします。チェックした場合は、ドロップダウンボックスで何時間おきに更新を行うかを選択します。

3) ファイリングボックス

何分おきにファイリングボックス文書のダウンロードを行うかを選択します。

4) FAX受信通知

Fコードの転送箱やファクス／インターネットファクス受信転送の設定にしたがってファイリングボックスに保管された受信したファクス文書をダウンロードしたときに、通知メッセージを表示するかどうかを設定します。

- **FAXを受信したときに通知する**: ファイリングボックスに保管された受信ファクス文書をダウンロードしたときに通知メッセージを表示したい場合はチェックします。通知メッセージは、e-BRIDGE Viewerの通知領域アイコンにポップアップ表示されます。この機能はe-BRIDGE Viewerが起動しており、通知領域にe-BRIDGE Viewerのアイコンが表示されている場合のみ有効になります。

- **添付メモ**: ファイリングボックスに保管された受信ファクスに自動的にメモを作成します。メモを追加すると、メモフィルタを使用して簡単に受信ファクス文書を探し出すことができます。

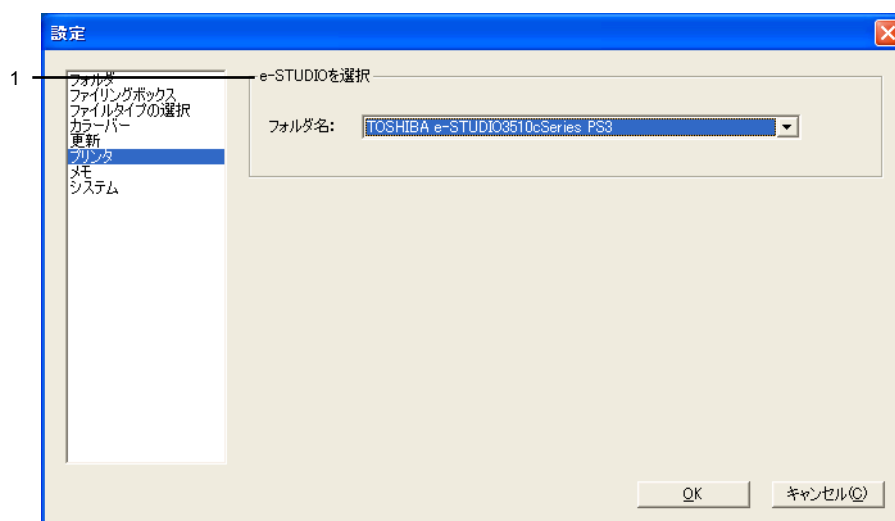
標準のプリンタをセットアップする

プリンタウィンドウでは、e-BRIDGE Viewerから印刷するときに使用する標準のプリンタを設定することができます。

補 足

e-BRIDGE Viewerでは、サポートするe-STUDIOプリンタのみ印刷することができます。この機能では、Windowsで標準に設定されているプリンタの代わりに、e-BRIDGE Viewerで使用する標準のプリンタを設定することができます。

プリンタ設定は、編集メニューの[設定...]を選択して表示される「設定」ダイアログボックスのプリンタウィンドウで設定することができます。



1) e-STUDIOを選択

e-BRIDGE Viewerから印刷するときに標準のプリンタとして使用するプリンタを選択します。選択したプリンタが選択された状態で「印刷」ダイアログボックスが表示されるので、よく使うプリンタを設定しておけば、印刷するたびに印刷するプリンタを変更する必要がなくなります。

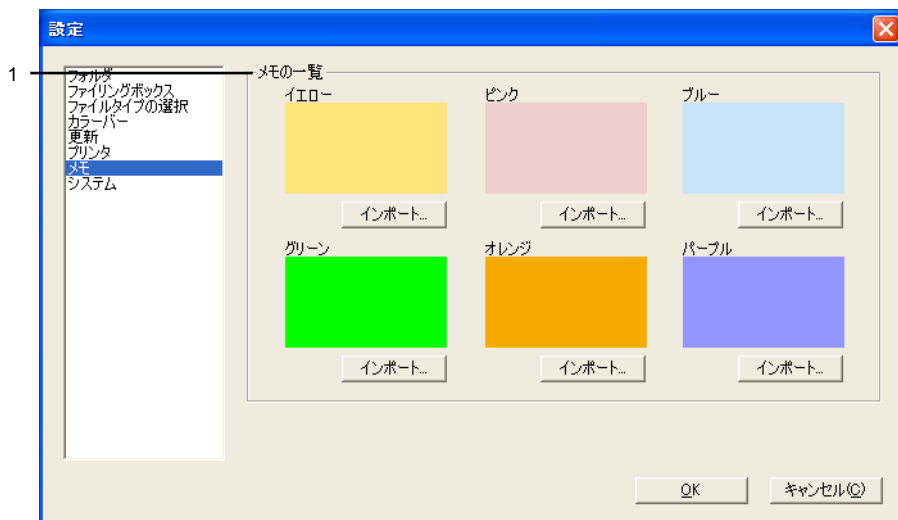
このドロップダウンボックスには、e-BRIDGE Viewerがサポートしないプリンタが表示されることがあります。

正式にサポートされる機種については、**はじめにお読み下さい.txt**を参照してください。

メモデザインをセットアップする

メモウィンドウではメモデザインをカスタマイズすることができます。

メモ設定は、編集メニューの[設定...]を選択して表示される「設定」ダイアログボックスのメモウィンドウで設定することができます。



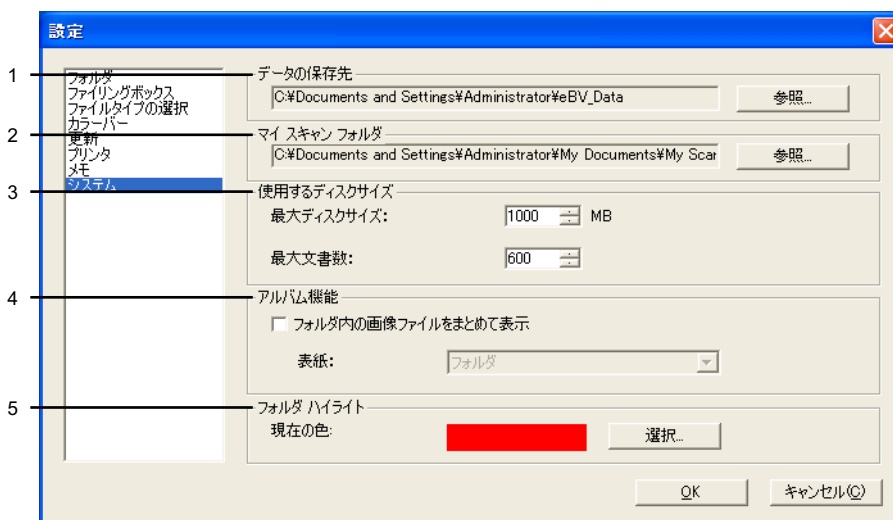
1) メモの一覧

支給されたメモファイルをインポートして、メモデザインを変更することができます。メモファイルをインポートする場合は、[インポート...]をクリックし、インポートするメモファイルを選択します。

システム設定をセットアップする

システムウィンドウでは、データフォルダの場所やマイスキャンフォルダの場所、使用するディスクサイズなど、e-BRIDGE Viewerのシステムを設定することができます。

システム設定は、編集メニューの[設定...]を選択して表示される「設定」ダイアログボックスのシステムウィンドウで設定することができます。



1) データの保存先

システムデータを保存するフォルダを指定します。通常は自動的に作成された「eBV_Data」フォルダに設定されています。フォルダを変更したい場合は、[参照]をクリックしフォルダを指定します。フォルダを変更すると、指定したフォルダの中に作成した「eBV_Data」フォルダに、古いフォルダにあるシステムデータすべてを移動します。

2) マイスキャンフォルダ

ダウンロードしたファイリングボックス文書を保存するフォルダを指定します。通常は「マイドキュメント」フォルダに自動的に作成された「My Scans」フォルダに設定されています。フォルダを変更したい場合は、[参照]をクリックしフォルダを指定します。フォルダを変更すると、指定したフォルダの中に作成した「My Scans」フォルダに、古いフォルダにあるダウンロードしたファイリングボックス文書すべてを移動します。

3) 使用するディスクサイズ


e-BRIDGE Viewerが使用できる最大のディスクサイズを設定します。

- **最大ディスクサイズ**: 文書イメージデータなどを保存するために使用される最大のディスクサイズを指定します。文書イメージデータの容量が制限を越えた場合は、古いものから文書イメージデータを削除していきます。標準の設定では、1000MBに設定されています。200MBから2000MBの範囲で設定することができます。
- **最大文書数**: e-BRIDGE Viewerが表示できる最大の文書数を指定します。e-BRIDGE Viewerで表示する文書が制限を越えた場合は、古いものから表示されなくなります。標準の設定では600文書に設定されています。1文書から2000文書の範囲で設定することができます。

4) アルバム機能

フォルダ内にイメージファイルが2つ以上ある場合に、イメージファイルを一つの文書として表示したい場合は、「フォルダ内の画像ファイルをまとめて表示」チェックボックスをチェックします。チェックした場合は、表紙の文書イメージを何にするかを「表紙」ドロップダウンボックスで選択します。

注 意

- この機能は、写真などをまとめて同じフォルダに保存している場合に、写真を1つ1つの文書として表示したくない場合に使用します。
- 標準の設定では、イメージファイルは登録する文書として設定されていません。この機能を使用する場合は、イメージファイルを登録するよう設定してください。
 P.22「登録するファイルタイプをセットアップする」

5) フォルダハイライト

フォルダツリーに表示される、現在表示している文書が含まれるフォルダを示すインジケータの色を変更できます。変更したい場合は、[選択...]をクリックし色を指定します。

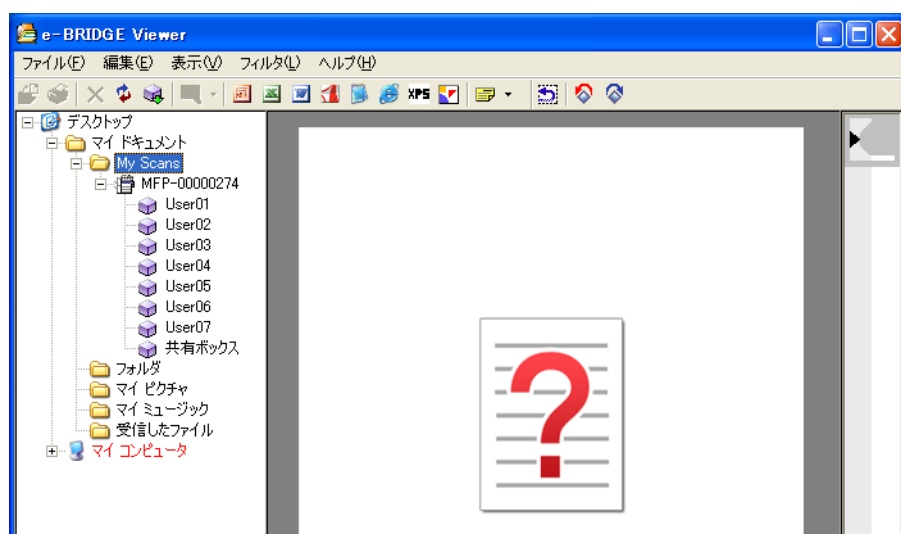
ファイリングボックス文書を表示する

e-BRIDGE Viewerでは、東芝デジタル複合機のファイリングボックスに保管された文書をPDFファイルとしてダウンロードし、文書イメージを表示して目的のファイリングボックス文書を簡単に探し出すことができます。

ファイリングボックス文書を表示するには、東芝デジタル複合機への接続と文書をダウンロードするボックスを設定する必要があります。接続の設定方法については、以下の説明を参照してください。

📖 P.20「ファイリングボックスをセットアップする」

東芝デジタル複合機へ接続が完了すると、ファイリングボックス文書がマイドキュメントフォルダ内の「My Scans」フォルダにPDFファイルとしてダウンロードされます。「My Scans」フォルダは、初めてファイリングボックス文書をダウンロードしたときに自動的に作成されます。ファイリングボックスから文書のダウンロードを完了したら、e-BRIDGE Viewerから文書イメージの表示や文書の印刷、ファイルの起動を操作することができます。



ファイリングボックス文書のダウンロードは、「ダウンロード間隔」の設定にしたがって自動的に実行することができます。標準の設定では、10分おきにダウンロードするように設定されています。

📖 P.24「更新設定をセットアップする」

また、手動で今すぐファイリングボックス文書のダウンロードを実行することもできます。

📖 P.30「ファイリングボックス文書をダウンロードする」

ファイリングボックス文書をダウンロードする

今すぐファイリングボックス文書をダウンロードしたい場合は、以下の操作を行います。

注意

ファイリングボックス文書をダウンロードする前に、東芝デジタル複合機への接続が正常に設定されているか確認してください。

📖 P.20「ファイリングボックスをセットアップする」

ファイリングボックス文書をダウンロードする

1 ファイルメニューをクリックし、[ダウンロード]を選択します。





- ファイリングボックス文書のダウンロードを開始します。

注意

ファイリングボックス設定がセットアップされていない場合は、ステータスバーにダウンロードできなかったメッセージが表示されます。この場合は、ファイリングボックス設定を正しくセットアップしてください。


補足

- ファイリングボックス文書をダウンロードは、ツールバーの  [ダウンロード]アイコンをクリックしても実行できます。
- ファイリングボックス文書のダウンロードは以下の操作で中断することができます。
 - ファイルメニューをクリックし[ダウンロード中止]を選択する
 -  [停止]アイコンをクリックする

文書を表示する


- e-BRIDGE Viewerでは、以下の文書を表示することができます。
 - Microsoft Wordファイル(*.doc)
 - RTFファイル(*.rtf)
 - Microsoft PowerPointファイル(*.ppt)
 - Microsoft Excelファイル(*.xls)
 - CSVファイル(*.csv)
 - PDFファイル(*.pdf)
 - テキストファイル(*.txt)
 - HTMLファイル(*.html, *.htm)
 - XPSファイル(*.xps)*¹
 - JPGファイル(*.jpg)
 - GIFファイル(*.gif)
 - PNGファイル(*.png)
 - TIFFファイル(*.tif, *.tiff)
 - ビットマップファイル(*.bmp)
- *¹ Windows XPのみ表示できます。

注 意


- JPEG圧縮またはZIP圧縮形式で保存されたTIFFファイルはe-BRIDGE Viewerでは表示することができません。
- e-BRIDGE Viewerでは上記以外のファイルを表示することはできません。
- 標準の設定では、デモファイルを含むフォルダ以外はe-BRIDGE Viewerで文書を表示するフォルダとして登録されていません。したがって、デモファイルのみドキュメントビューに表示されます。e-BRIDGE Viewerで文書を表示・管理する前に、管理したい文書が含まれるフォルダの登録を行ってください。
 P.19「フォルダ登録をセットアップする」


補 足


e-BRIDGE Viewerを初めて起動したときは、デモファイルのみが表示する文書として登録されています。デモファイルを表示したくない場合は、デモファイルがあるフォルダの登録を解除します。デモファイルは、e-BRIDGE Viewerのプログラムフォルダにある「DEMO」フォルダに収録されています。フォルダ登録の解除方法については、以下の説明を参照してください。

 P.19「フォルダ登録をセットアップする」


e-BRIDGE Viewerでは、これらのファイルの文書イメージを表示し、以下の機能を使って文書を管理することができます。


 P.32「文書イメージを更新する」

 P.34「文書をめくる」

 P.34「ページをめくる」

 P.34「ドキュメントビューを回転する」

 P.35「文書を非表示にする」

 P.36「文書を絞り込んで表示する」

文書イメージを更新する

対応したアプリケーションがインストールされているファイルは、e-BRIDGE Viewerで文書イメージを表示することができます。

標準の設定では、e-BRIDGE Viewerはスクリーンセーバーが起動中に文書イメージを作成します。どのように文書イメージを作成するかは、更新設定でセットアップすることができます。

📖 P.24「更新設定をセットアップする」

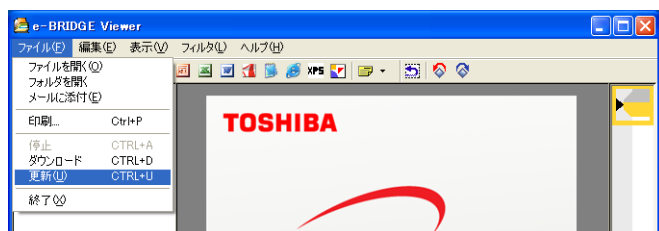
また、文書イメージの更新を手動で操作することもできます。

補 足

文書の内容が変更された場合は、文書イメージの上に「更新中」の文字が表示されます。「更新中」の文字が表示されている場合は、文書の変更が文書イメージにまだ反映されていないことを示します。文書イメージの更新を行い、実際の文書の内容と文書イメージが同じになると、「更新中」の文字は消えます。

文書イメージの更新を手動で行う

1 ファイルメニューをクリックし、[更新]を選択します。





- 文書イメージの更新を開始します。

注意

- 文書イメージの更新を実行すると、バックグラウンドで関連したアプリケーションを起動し文書イメージを作成します。アプリケーションを起動して文書を開く際にポップアップメッセージが表示される場合などは、バックグラウンドでアプリケーションを起動できずに文書イメージの更新ができないことがあります。たとえば、マクロを含むMicrosoft Office文書を更新する場合は、文書を開く際にマクロを有効にするかどうかを選択する必要があるため、バックグラウンドではアプリケーションを起動できずに、文書イメージの更新に失敗します。また、Adobe Acrobat Readerで自動アップデートが有効になっている場合や、パスワード付き文書を更新する場合などにも、同様の現象が発生することがあります。これらのファイルを更新するには、文書を開く際にメッセージが表示されないようにアプリケーションや文書の設定を変更する必要があります。
- 文書イメージの更新を実行すると、ファイリングボックスから新しい文書のダウンロードも行います。

補足

- 文書イメージの更新は、ツールバーの  [更新]アイコンをクリックしても実行することができます。
- 文書イメージの更新は以下の操作で中断することができます。
 - ファイルメニューをクリックし[更新中止]を選択する
 -  [停止]アイコンをクリックする

* ファイルメニューの[更新]コマンドは、実行している処理によって[更新停止]または[ダウンロード停止]に表示が変わります。

文書をめくる

ドキュメントビューでは、以下の操作で表示する文書をめくることができます。

- マウスホイールを使用する
- 上矢印または下矢印キーを押す
- 表示メニューをクリックし[前の文書]または[次の文書]を選択する

文書は、ファイルの日時設定の順序でめくられます。標準の設定では、ファイルの更新日時の順序で表示されます。どの日付設定を基準に文書を並び替えるかは、カラーバー設定で変更することができます。

📖 P.23「カラーバー設定をセットアップする」

ページをめくる

ドキュメントビューでは、以下の操作で表示する文書のページをめくることができます。

- 右矢印または左矢印キーを押す
- 表示メニューをクリックし[前のページ]または[次のページ]を選択する

標準の設定では、最大5ページまで文書のページを表示できるよう設定されています。表示する最大ページ数を変更したい場合は、更新設定の「ページ数の上限」の設定を変更します。

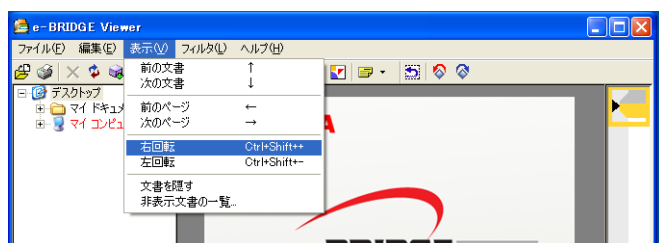
📖 P.24「更新設定をセットアップする」

ドキュメントビューを回転する

ドキュメントビューを回転させることができます。



ドキュメントビューを回転する

1 表示メニューをクリックし、[右回転]または[左回転]を選択します。



- ドキュメントビューが回転します。

注意

- ドキュメントビューの回転は、ドキュメントビューを右クリックし[右回転]または[左回転]を選択しても実行することができます。
- ドキュメントビューの回転は、ツールバーの  [左回転]アイコンまたは  [右回転]アイコンをクリックしても実行することができます。

文書を非表示にする

特定の文書を表示させたくない場合は、文書を非表示に設定することができます。文書を非表示に設定すると、文書をめくってもドキュメントビューに表示されなくなります。

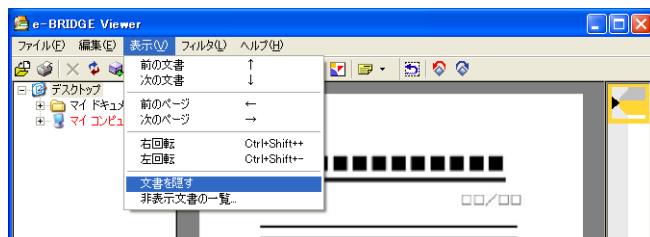
📖 P.35「文書を非表示にする」

非表示にした文書を表示したい場合は、非表示文書のリストを表示し、非表示設定を解除します。

📖 P.35「非表示設定を解除する」

文書を非表示にする

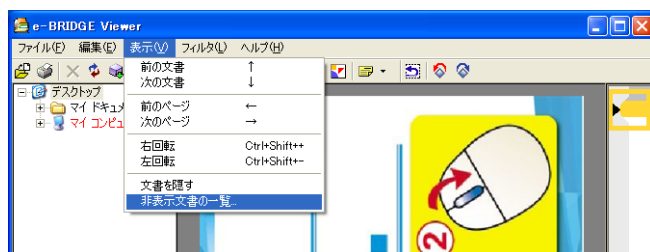
- 1 非表示したい文書をドキュメントビューに表示します。
- 2 表示メニューをクリックし、[文書を隠す]を選択します。



- 文書が非表示になります。

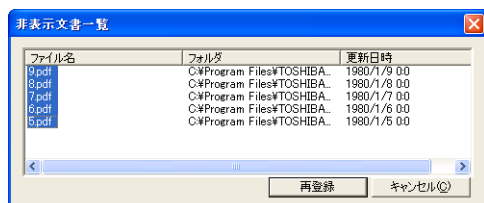
非表示設定を解除する

- 1 表示メニューをクリックし、[非表示文書の一覧...]を選択します。



- 「非表示文書の一覧」ダイアログボックスが表示されます。

2 非表示設定を解除したい文書名を選択し[再登録]をクリックします。



- 選択した文書の非表示設定を解除します。

補 足

非表示文書の一覧には、非表示に設定した文書以外にも、エラーによって登録できなかった文書も表示されます。

文書を登録するときには、バックグラウンドで関連したアプリケーションを起動し文書イメージを作成します。アプリケーションを起動して文書を開く際にポップアップメッセージが表示される場合などは、バックグラウンドでアプリケーションを起動できずに文書の登録ができないことがあります。たとえば、マクロを含むMicrosoft Office文書を登録する場合は、文書を開く際にマクロを有効にするかどうかを選択する必要があるため、バックグラウンドではアプリケーションを起動できずに、文書の登録に失敗します。また、Adobe Acrobat Readerで自動アップデートが有効になっている場合や、パスワード付き文書を登録する場合などにも、同様の現象が発生することがあります。これらのファイルを登録するには、文書を開く際にメッセージが表示されないようにアプリケーションや文書の設定を変更する必要があります。

文書を絞り込んで表示する

ドキュメントビューに表示する文書を絞り込んで、目的の文書を簡単に探し出すことができます。

以下の方法で文書を絞り込むことができます。

📖 P.37「ファイルタイプで文書を絞り込む」

📖 P.38「メモが付いている文書を絞り込んで表示する」

📖 P.38「ファイル名で文書を絞り込む」

注 意

絞り込んだときに表示する文書が存在しない場合は、文書イメージが表示されずイメージをめくることができません。その場合は、ツールバーの[すべて解除]アイコンをクリックしてフィルタを解除してください。

補 足

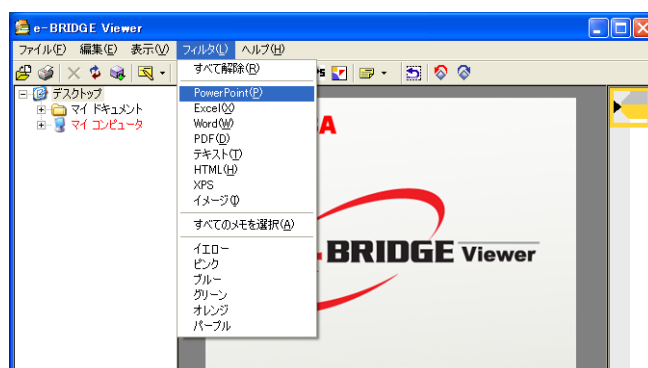
絞り込む条件は複数指定することができます。複数の絞り込み条件を指定した場合は、有効にしたフィルタ機能のいずれか1つでも該当する文書をすべて表示します。

ファイルタイプで文書を絞り込む

- 以下の種類にわけて、文書を絞り込むことができます。
 - PowerPointファイル(*.ppt)
 - Wordファイル(*.doc, *.rtf)
 - Excelファイル(*.xls, *.csv)
 - PDFファイル(*.pdf)
 - テキストファイル(*.txt)
 - HTMLファイル(*.html, *.htm)
 - XPSファイル(*.xps)^{*1}
 - イメージファイル(*.jpg, *.gif, *.png, *.tif, *.tiff, *.bmp)

^{*1} Windows XPのみ表示できます。

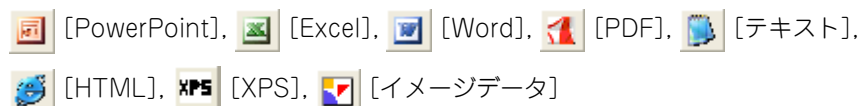
1 フィルタメニューをクリックし絞り込んで表示したいファイルタイプを選択します。



- 絞り込んで表示しているファイルタイプの横にチェックマークが表示されます。

補 足

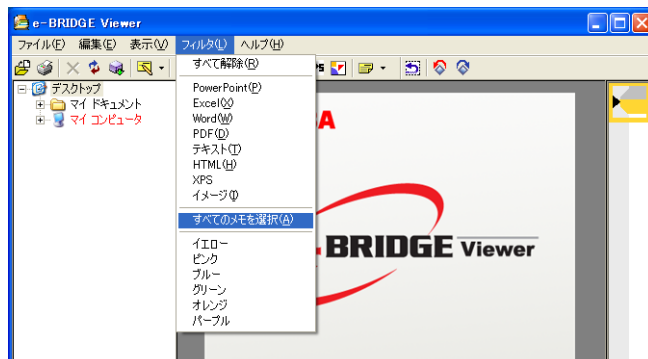
ツールバーにある以下のアイコンをクリックしても、文書の絞り込みを実行することができます。



メモが付いている文書を絞り込みこんで表示する


メモで文書を絞り込むと、メモが付いている文書だけを絞り込んで表示できます。また、メモのデザインを指定して、特定のデザインのメモが付いている文書だけを絞り込んで表示することもできます。

- 1 メモが付いているすべての文書を絞り込んで表示する場合は、フィルタメニューをクリックし、[すべてのメモを選択]を選択します。
特定のデザインのメモが付いている文書を絞り込んで表示する場合は、フィルターメニューをクリックしデザインを選択します。



- メモが付いている文書を絞り込んで表示します。

補 足

メモが付いている文書の絞り込みは、ツールバーの  [メモフィルタ]アイコンをクリックしても実行できます。

ファイル名で文書を絞り込む

- 1 ツールバーの「名前」欄に文字を入力し、[検索]をクリックします。



- 入力した文字を含むファイル名の文書を絞り込んで表示します。

注 意

「名前」欄はメインウィンドウに表示する幅がない場合は表示されません。「名前」欄を表示するには、メインウィンドウの幅を「名前」欄が表示されるまで広げてください。

文書を管理する

e-BRIDGE Viewerでは、表示した文書を使用して以下の機能を実行することができます。

- 📖 P.39「メモを追加または編集する」
- 📖 P.42「文書を開く」
- 📖 P.42「フォルダを開く」
- 📖 P.42「文書を印刷する」
- 📖 P.44「Eメールに添付する」

メモを追加または編集する

文書にメモを追加すると、文書の絞り込みなどに使用することができます。
6種類のデザインのメモを追加することができます。

- 📖 P.40「メモを追加する」
- 📖 P.41「メモを編集する」
- 📖 P.41「メモのデザインを変更する」
- 📖 P.42「メモを削除する」

補 足

文書にメモを追加すると、メモが付いているすべての文書を絞り込んで表示したり、特定のデザインのメモが付いている文書を絞り込んで表示することができます。

- 📖 P.36「文書を絞り込んで表示する」

注 意

メモを追加したあとに元文書を編集した場合は、メモの位置がずれることがあります。

メモを追加する

- 1 メモを追加したい文書を表示し、編集メニューをクリックして、[メモ新規作成]を選択します。



- メモが文書に追加されます。

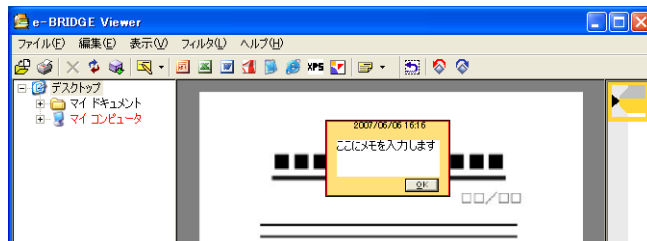
補 足

- メモの追加は、文書を右クリックして[新規メモ]を選択しても実行することができます。
- 編集メニューのメモコマンド下にあるデザインコマンドを選択すると、選択したデザインのメモを追加することができます。
- メモの追加は、ツールバーの [新規メモ] アイコンをクリックしても実行することができます。
- ツールバーの [新規メモ] アイコン横の矢印ボタンをクリックし、表示されたメニューからデザインを選択すると、選択したデザインのメモを追加することができます。

注 意

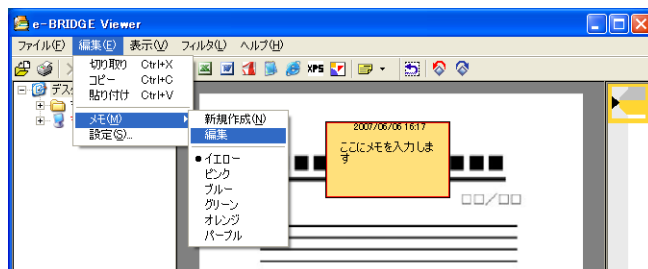
メモの追加は1文書につき100枚、1ページにつき10枚まで実行することができます。上限を超えた場合は、操作を実行してもメモは追加されません。

- 2 メモに内容を入力し、[OK]をクリックします。



メモを編集する

- 1 編集したいメモを選択し、編集メニューをクリックして、[メモ編集]を選択します。

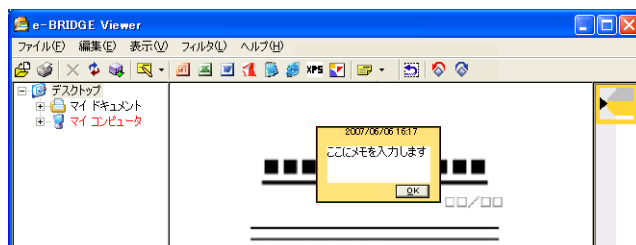


- メモが編集状態になります。

補 足

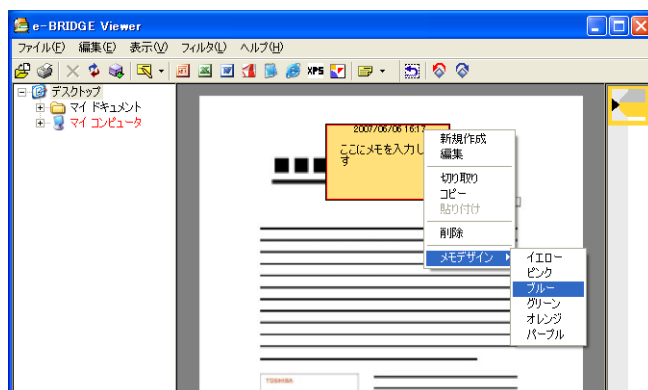
メモの編集は、メモを右クリックして[編集]を選択しても実行することができます。

- 2 メモの内容を変更し[OK]をクリックします。



メモのデザインを変更する

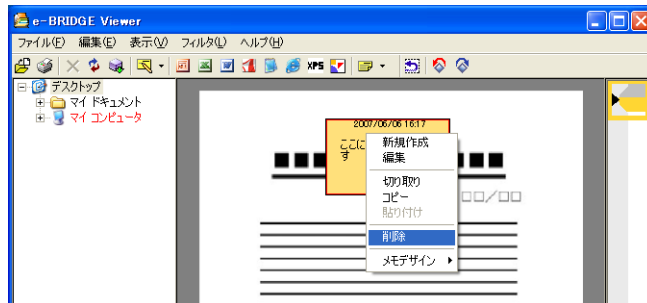
- 1 メモを右クリックし[メモデザイン]を選択して表示されたメニューからデザインを選択します。



- 選択したデザインにメモのデザインが変わります。

メモを削除する

1 削除したいメモを右クリックし[削除]を選択します。



- メモが削除されます。

文書を開く

以下の操作で、ドキュメントビューから表示した文書を対応したアプリケーションで直接開くことができます。

- ファイルメニューをクリックし[ファイルを開く]を選択する
- ドキュメントビューで文書をダブルクリックする
- 文書を右クリックし[ファイルを開く]を選択する

注意

文書を開くには、文書に対応したアプリケーションがインストールされている必要があります。

フォルダを開く

以下の操作で、ドキュメントビューに表示された文書のフォルダをエクスプローラで開くことができます。

- ファイルメニューをクリックし[フォルダを開く]を選択する

また以下の操作で、フォルダツリーから選択したフォルダをエクスプローラで開くことができます。

- フォルダツリーでフォルダをダブルクリックする
- フォルダを右クリックし[フォルダを開く]を選択する

文書を印刷する

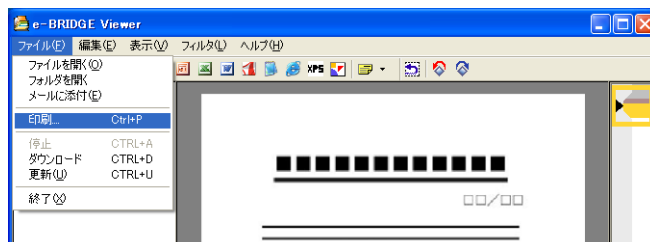
文書を開かずにe-BRIDGE Viewerから表示した文書を直接印刷することができます。e-BRIDGE Viewerから直接印刷する場合は、選択したプリンタドライバの標準の印刷設定にしたがって印刷されます。

注意

e-BRIDGE Viewerから印刷する場合は、東芝デジタル複合機を使用して印刷します。その他のプリンタを使用して印刷したい場合、または印刷設定を変更して印刷したい場合は、文書に対応したアプリケーションで開いて印刷を行ってください。


文書を印刷する

1 ファイルメニューをクリックし、[印刷]を選択します。

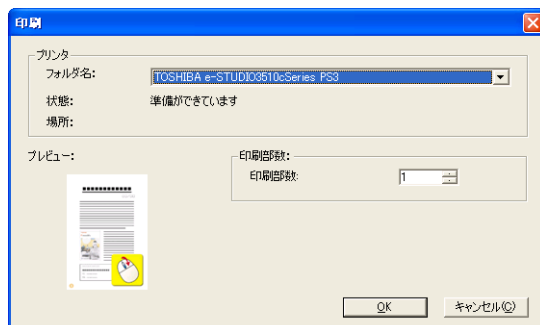


- 「印刷」ダイアログボックスが表示されます。

補 足

- 文書の印刷は、文書を右クリックして[印刷]を選択しても実行することができます。
- 文書の印刷は、ツールバーの  [印刷] アイコンをクリックしても実行することができます。

2 使用するプリンタを選択し、部数を指定して[OK]をクリックします。



- 表示している文書が印刷されます。

補 足

標準で使用するプリンタは、プリンタ設定で指定することができます。

 P.25「標準のプリンタをセットアップする」

注 意

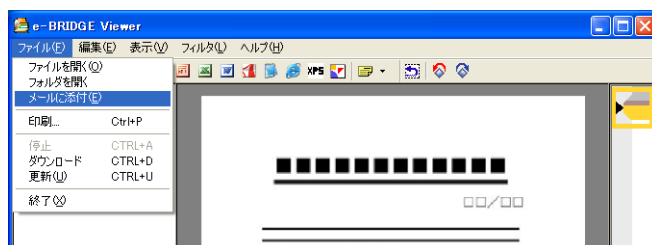
- e-BRIDGE Viewerから直接TIFFファイルを印刷する場合は、Adobe Acrobat Readerがインストールされている必要があります。
- 文書を複数部印刷する場合は、アプリケーションから印刷するようにしてください。e-BRIDGE Viewerから複数部指定して印刷すると、1部ごとに別の印刷ジョブとしてプリンタに送信されます。

Eメールに添付する

e-BRIDGE Viewerから自動的に標準に設定されているEメールアプリケーションを起動して、表示した文書を添付ファイルにした新しいEメールメッセージを作成することができます。

文書をEメールに添付する

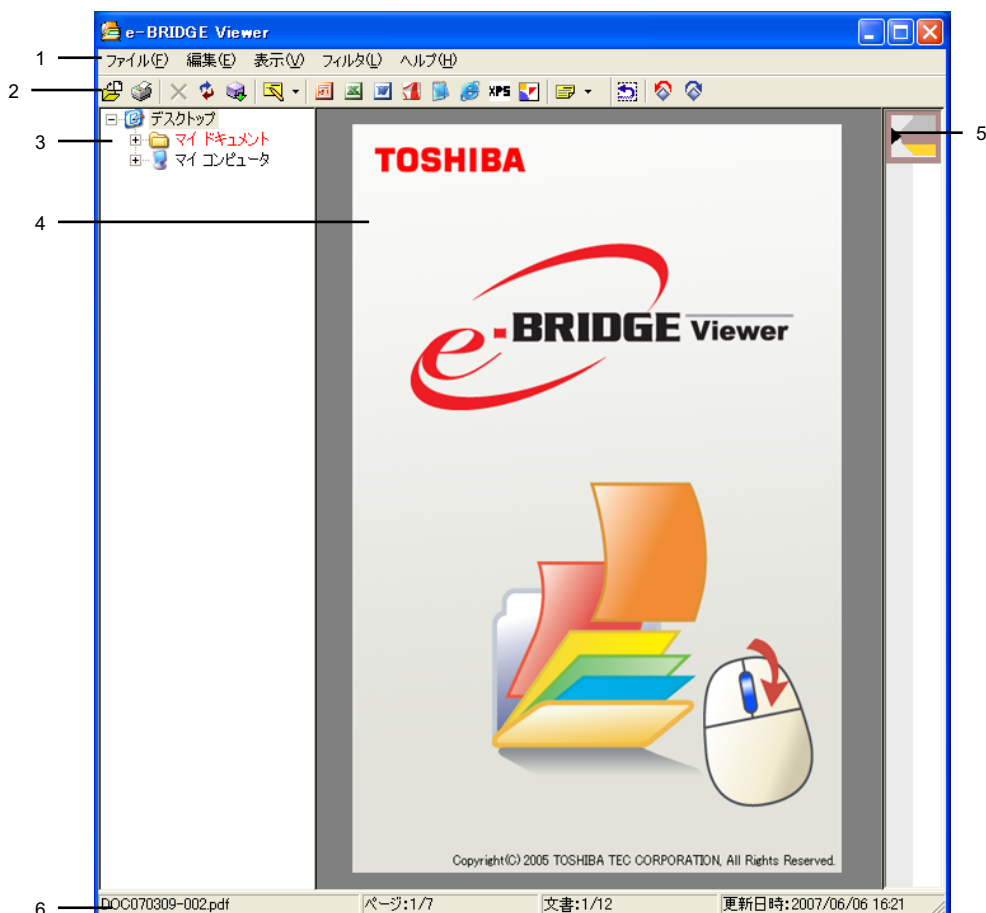
1 ファイルメニューをクリックし、[メールに添付]を選択します。



- 表示している文書を添付ファイルとして、標準に設定されたEメールアプリケーションで新しいメッセージを作成します。

メインウィンドウの使用方法

e-BRIDGE Viewerを起動すると、メインウィンドウが表示されます。メインウィンドウでは文書を表示する以外にも様々な機能を使用することができます。



1) メニューバー

このメニューからさまざまな機能を選択することができます。

📖 P.47「メニューバーコマンド」

2) ツールバー

ツールバーにはよく使う機能がアイコンで表示されています。

📖 P.50「ツールバーコマンド」

3) フォルダツリー

コンピュータのフォルダがツリー階層で表示されます。

フォルダツリーで特定のフォルダを選択すると、選択したフォルダまたはサブフォルダ内にある登録文書のみがドキュメントビューに表示されます。

フォルダをダブルクリックすると、エクスプローラでダブルクリックしたフォルダを開きます。

また、ドキュメントビューで表示している文書があるフォルダがハイライト表示されます。新しいフォルダが追加された場合や、未登録のフォルダを削除した場合は、[F5]キーを押すとフォルダツリーを更新できます。登録済みのフォルダを削除した場合、または登録済みのフォルダに文書を追加したり削除した場合は、Shift+[F5]キーを押すとフォルダツリーを更新できます。

補 足

登録されていないフォルダを選択した場合、または文書がない登録フォルダを選択した場合は、ドキュメントビューに文書イメージは表示されません。

📖 P.19「フォルダ登録をセットアップする」

4) ドキュメントビュー

選択したフォルダおよびサブフォルダにある文書イメージを表示します。

文書イメージは対応したアプリケーションがインストールされている場合のみ表示できます。たとえば、テキストファイルの文書イメージを表示するには、メモ帳などのテキストファイル対応のアプリケーションがインストールされている必要があります。

文書イメージはマウスホールドまたは上下矢印キーを使って文書の時間設定順に切り換えます。また文書のページは、右矢印／左矢印キーを使って切り換えることができます。ページは、設定にしたがって最大1000ページまで表示することができます。(標準の設定では、5ページまで文書イメージ表示するよう設定されています。)

補 足

- どの時間設定を基準に文書を並べるかは、カラーバー設定で変更することができます。
📖 P.23「カラーバー設定をセットアップする」
- ドキュメントビューのまわりに余分な余白が表示されているとき、余白をダブルクリックすると文書イメージに合わせてウィンドウサイズを最適化することができます。

5) カラーバー

文書が保存されているフォルダごとに色分けし、登録されている文書全体を文書表示順に表示してバー表示します。カラーバー上をクリックすると、クリックした位置の文書をドキュメントビューに表示します。

6) ステータスバー

e-BRIDGE Viewerの状態や現在表示している文書の情報を表示します。

メニューバーコマンド

メニューバーからは、以下の機能を実行することができます。

ファイルメニュー

- **ファイルを開く**

現在表示している文書を対応したアプリケーションで起動します。表示している文書に対応したアプリケーションがない場合は、ファイルを開くことはできません。

☞ P.42「文書を開く」

- **フォルダを開く**

表示している文書のあるフォルダをエクスプローラで開きます。

☞ P.42「フォルダを開く」

- **メールに添付**

標準に設定されているEメールアプリケーションを起動し、表示している文書を添付ファイルにして新しいEメールメッセージを作成します。

☞ P.44「Eメールに添付する」

- **印刷**

インストールされているe-STUDIOプリンタドライバを使用して、表示している文書を印刷します。e-BRIDGE Viewerから印刷した場合は、プリンタドライバで設定されている標準の設定で印刷されます。印刷設定を変更して印刷したい場合、または他製品のプリンタを使用して印刷したい場合は、文書を対応したアプリケーションで開き印刷を行ってください。

☞ P.42「文書を印刷する」

- **ダウンロード中止／更新中止**

ファイリングボックス文書のダウンロードまたは文書イメージの更新を中断します。ファイリングボックス文書のダウンロードまたは文書イメージの更新中のみ操作することができます。

- **ダウンロード**

手動でファイリングボックス文書のダウンロードを実行します。初期設定では、10分ごとにファイリングボックス文書のダウンロードを自動的に行うように設定されています。今すぐにファイリングボックス文書のダウンロードを行いたい場合は、このコマンドを使ってダウンロードを実行します。

☞ P.30「ファイリングボックス文書をダウンロードする」

- **更新**

文書イメージの更新を開始します。標準の設定では、文書イメージの更新はスクリーンセーバーの起動中に実行するように設定されています。このコマンドは、今すぐ文書イメージの更新を開始したい場合に使用します。

☞ P.32「文書イメージを更新する」

- **終了**

e-BRIDGE Viewerのメインウィンドウを閉じます。e-BRIDGE Viewerのアイコンは通知領域に表示されたままになり、文書イメージの更新やファイリングボックス文書のダウンロードは更新設定にしたがって処理されます。e-BRIDGE Viewerを終了したい場合は、通知領域メニューの[e-BRIDGE Viewerを終了]を選択します。

編集メニュー

- **切り取り**

選択したメモや文字、文書などをコピーして削除します。文書を切り取りした場合は、実際のファイルがコピーされ削除されます。

- **コピー**
選択したメモや文字、文書などをコピーします。
- **貼り付け**
コピーしたメモや文字などを選択した箇所に貼り付けします。文書を貼り付けした場合は、選択したフォルダに実際に文書が追加されます。
- **メモー新規作成**
新しいメモを表示中の文書に作成します。メモを作成しておく、メモが付いている文書のみをフィルタして表示することができます。
☞ P.39「メモを追加または編集する」
- **メモー編集**
選択したメモの内容を編集します。このコマンドは、ドキュメントビューでメモを選択している場合のみ有効です。
☞ P.39「メモを追加または編集する」
- **メモーイエロー／ピンク／ブルー／グリーン／オレンジ／パープル**
選択したデザインのメモを新しく表示中の文書に作成します。デザインファイルをインポートした場合は、表示されるコマンド名が変わります。
- **設定...**
e-BRIDGE Viewerの設定を行います。
☞ P.17「e-BRIDGE Viewerをセットアップする」

表示メニュー

- **前の文書**
一つ前の文書イメージを表示します。マウスホイールを前に回すか、または上矢印キーを押しても同様です。
☞ P.34「文書をめくる」
- **次の文書**
一つ次の文書イメージを表示します。マウスホイールを後ろに回すか、または下矢印キーを押しても同様です。
☞ P.34「文書をめくる」
- **前のページ**
1 ページ前のページの文書イメージを表示します。左矢印キーを押しても同様です。
☞ P.34「ページをめくる」
- **次のページ**
次のページの文書イメージを表示します。右矢印キーを押しても同様です。
☞ P.34「ページをめくる」
- **右回転**
ドキュメントビューを90度右に回転します。
☞ P.34「ドキュメントビューを回転する」
- **左回転**
ドキュメントビューを90度左に回転します。
☞ P.34「ドキュメントビューを回転する」
- **文書を隠す**
表示している文書を非表示にします。非表示にした文書は、非表示設定を解除するまで表示されません。
☞ P.35「文書を非表示にする」

- **非表示文書の一覧**

非表示に設定した文書やエラーにより表示できなかった文書の一覧を表示します。非表示文書の一覧では、非表示設定を解除することができます。

📖 P.35「文書を非表示にする」

フィルタメニュー

- **すべて解除**

有効にしたフィルタ設定をすべて解除します。すべてのフィルタを解除した場合は、すべての登録文書が表示されます。

- **PowerPoint／Excel／Word／PDF／テキスト／HTML／XPS／イメージ**

ドキュメントビューに表示する文書をファイル種別で絞り込むことができます。コマンドメニューの左横にチェックマークがある場合は、そのファイル種別によって表示する文書を絞り込んでいることを示します。もう一度選択すると、チェックマークが消えフィルタを解除します。

- **すべてのメモを選択**

このコマンドを選択すると、メモが付いている文書を絞り込んで表示します。

- **イエロー／ピンク／ブルー／グリーン／オレンジ／パープル**

選択したデザインのメモが付いている文書を絞り込んで表示します。コマンドメニューの左横にチェックマークがある場合は、そのメモデザインによって表示する文書を絞り込んでいることを示します。もう一度選択すると、チェックマークが消えフィルタを解除します。

ヘルプメニュー

- **e-BRIDGE Viewerヘルプ**

e-BRIDGE Viewerのオンラインヘルプを表示します。

- **e-BRIDGE Viewerのライセンス認証**

e-BRIDGE Viewerのライセンス認証を手動で行います。

e-BRIDGE Viewerは、東芝デジタル複合機への接続が確認されるとライセンス認証を自動的に行います。このコマンドは、今すぐにライセンス認証を行いたい場合に使用します。

東芝デジタル複合機へ正常に接続したことが確認されると、ライセンス認証の有効期限を90日間にリセットします。したがって、東芝デジタル複合機への接続が確立されている限りe-BRIDGE Viewerを使用することができます。

📖 P.15「ライセンス認証を行う」

- **バージョン情報**

e-BRIDGE Viewerのバージョン情報を表示します。

ツールバーコマンド

ツールバーからは、以下の機能を実行することができます。

注 意

いくつかのツールバーアイコンは、メインウィンドウに表示する幅がない場合は表示されません。隠れているツールバーアイコンを表示するには、メインウィンドウの幅を広げてください。



現在表示している文書に対応したアプリケーションで起動します。表示している文書に対応したアプリケーションがない場合は、ファイルを開くことはできません。

📖 P.42「文書を開く」



インストールされているe-STUDIOプリンタドライバを使用して、表示している文書を印刷します。e-BRIDGE Viewerから印刷した場合は、プリンタドライバで設定されている標準の設定で印刷されます。印刷設定を変更して印刷したい場合、または他製品のプリンタを使用して印刷したい場合は、文書に対応したアプリケーションで開き印刷を行ってください。

📖 P.42「文書を印刷する」



ファイリングボックス文書のダウンロードまたは文書イメージの更新を中断します。ファイリングボックス文書のダウンロードまたは文書イメージの更新中のみ操作することができます。



文書イメージの更新を開始します。標準の設定では、文書イメージの更新はスクリーンセーバーの起動中に自動的に実行するように設定されています。このコマンドは、今すぐ文書イメージの更新を開始したい場合に使用します。

📖 P.32「文書イメージを更新する」



手動でファイリングボックス文書のダウンロードを実行します。初期設定では、10分ごとにファイリングボックス文書のダウンロードを自動的に行うように設定されています。今すぐにファイリングボックス文書のダウンロードを行いたい場合は、このコマンドを使ってダウンロードを実行します。

📖 P.30「ファイリングボックス文書をダウンロードする」



新しいメモを表示中の文書に作成します。メモを作成しておくと、メモが付いている文書のみをフィルタして表示することができます。

📖 P.39「メモを追加または編集する」



ドキュメントビューに表示する文書をPowerPoint文書に絞り込みます。

📖 P.36「文書を絞り込んで表示する」



ドキュメントビューに表示する文書をExcel文書に絞り込みます。

📖 P.36「文書を絞り込んで表示する」



ドキュメントビューに表示する文書をWord文書に絞り込みます。

📖 P.36「文書を絞り込んで表示する」



ドキュメントビューに表示する文書をPDF文書に絞り込みます。

📖 P.36「文書を絞り込んで表示する」



ドキュメントビューに表示する文書をテキスト文書に絞り込みます。

📖 P.36「文書を絞り込んで表示する」



ドキュメントビューに表示する文書をHTML文書に絞り込みます。

📖 P.36「文書を絞り込んで表示する」



ドキュメントビューに表示する文書をXPS文書に絞り込みます。

📖 P.36「文書を絞り込んで表示する」



ドキュメントビューに表示する文書をイメージファイル(JPEG、GIF、PNG、TIFF、BMP)に絞り込みます。

📖 P.36「文書を絞り込んで表示する」



メモが付いている文書を絞り込んで表示します。また、ツールアイコン右の矢印をクリックしてデザインを選択すると、選択したデザインのメモが付いている文書を絞り込んで表示します。

📖 P.36「文書を絞り込んで表示する」

名前:

doc

検索

ドキュメントビューに表示する文書を入力した文字を含むファイルに絞り込みます。

📖 P.36「文書を絞り込んで表示する」



有効にしたフィルタ設定をすべて解除します。



ドキュメントビューを90度左に回転します。

📖 P.34「ドキュメントビューを回転する」



ドキュメントビューを90度右に回転します。

📖 P.34「ドキュメントビューを回転する」

索引

E

| | |
|-------------------------------|----|
| e-BRIDGE Viewerのライセンス認証 | 49 |
| e-BRIDGE Viewerヘルプ | 49 |
| e-BRIDGE Viewerを終了 | 15 |
| e-BRIDGE Viewerを開く | 15 |
| e-STUDIOを選択 | 25 |

F

| | |
|-----------------------|----|
| FAX受信通知 | 24 |
| FAXを受信したときに通知する | 24 |

あ

| | |
|--------------|----|
| アルバム機能 | 28 |
|--------------|----|

い

| | |
|------------|--------|
| 一定時間 | 24 |
| 印刷 | 43, 47 |

か

| | |
|----------------|----|
| カラーバー | 46 |
| カラーバーの表示 | 23 |

き

| | |
|------------|----|
| 切り取り | 47 |
|------------|----|

け

| | |
|----------|----|
| 検索 | 38 |
|----------|----|

こ

| | |
|-----------------|--------|
| 更新 | 15, 47 |
| 更新中止 | 33, 47 |
| このフォルダを登録 | 19 |
| コピー | 48 |

さ

| | |
|-----------------|----|
| 最大ディスクサイズ | 27 |
| 最大文書数 | 27 |
| サブフォルダも登録 | 19 |

し

| | |
|-------------------|----|
| 自動更新 | 24 |
| 終了 | 47 |
| 使用するディスクサイズ | 27 |
| 新規メモ | 40 |

す

| | |
|--------------------|--------|
| スクリーンセーバー起動時 | 24 |
| ステータスバー | 46 |
| すべて解除 | 49 |
| すべてのメモを選択 | 38, 49 |

せ

| | |
|----------|--------|
| 設定... .. | 17, 48 |
|----------|--------|

た

| | |
|-------------------|------------|
| ダウンロード | 15, 30, 47 |
| ダウンロード間隔 | 29 |
| ダウンロード後削除する | 21 |

| | |
|----------------|--------|
| ダウンロード中止 | 30, 47 |
|----------------|--------|

つ

| | |
|-------------|--------|
| ツールバー | 45 |
| 次の文書 | 34, 48 |
| 次のページ | 48 |

て

| | |
|---------------|----|
| 停止 | 15 |
| データの保存先 | 27 |
| デバイスの選択 | 21 |
| 添付メモ | 25 |

と

| | |
|-----------------|----|
| 登録 | 19 |
| ドキュメントビュー | 46 |

は

| | |
|---------------|----|
| バージョン情報 | 49 |
| 貼り付け | 48 |

ひ

| | |
|----------------|--------|
| 左回転 | 34, 48 |
| 必要環境 | 9 |
| 非表示文書の一覧 | 49 |
| 非表示文書の一覧... .. | 35 |
| 表示メニュー | 48 |

ふ

| | |
|---------------------------|--------|
| ファイルタイプの選択 | 22 |
| ファイルメニュー | 47 |
| ファイルを開く | 42, 47 |
| フィルタメニュー | 49 |
| フォルダ情報 | 20 |
| フォルダ色 | 20 |
| フォルダ色の再割り当て | 23 |
| フォルダツリー | 19, 45 |
| フォルダ内の画像ファイルをまとめて表示 | 28 |
| フォルダハイライト | 28 |
| フォルダを開く | 42, 47 |
| 文書の並び順 | 23 |
| 文書を隠す | 35, 48 |

へ

| | |
|---------------|--------|
| ページ数の上限 | 24, 34 |
| ヘルプメニュー | 49 |
| 編集メニュー | 47 |

ほ

| | |
|---------------|----|
| ボックスの選択 | 21 |
|---------------|----|

ま

| | |
|------------------|--------|
| マイスキャンフォルダ | 27 |
| 前の文書 | 34, 48 |
| 前のページ | 48 |
| マニュアル登録 | 21 |

み

右回転 34, 48

め

メールに添付 44, 47

メニューバー 45

メニューバーコマンド 47

メモデザイン 41

メモの一覧 26

メモー新規作成 48

メモー新規追加 40

メモー編集 41, 48

ら

ライセンス認証 16

東芝デジタル複合機

取扱説明書

e-BRIDGE Viewer

<開発・製造元>

東芝テック株式会社

<販売元>

東芝テックビジネスソリューション株式会社

